



日本医療機能評価機構認定病院

笑顔いっぱい



広島中央保健生活協同組合 総合病院 福島生協病院

秋号

(第31号)

発行日/平成23年10月1日

発行・編集

福島生協病院編集委員会
広島市西区都町42番7号
TEL082-292-3171(代)

ホームページアドレス

<http://www.hch.coop/fukushima/>

◇◇◇◇第5次長期計画の具体化について◇◇◇◇

どりーむぶろじえくと：高野雄史(生協組織部)

2011年度臨時総代会(2011年3月7日)にて、生協歯科ひろしまの新築移転計画が決定したのを皮切りに、第56回通常総代会(2011年6月18日)で第5次長期計画(2011年～2015年)がスタートしました。

第5次長期計画の3本柱は①生協ビル(仮称)の建設 ②新福島生協病院の建設 ③介護事業の拡大です。「笑顔で安心して住みつづけられる『まちづくり』」の実現を目指し、「事業所づくり(事業所建設)」「人づくり」「仲間ふやし・出資金ふやし」などを中心に各方面の取り組みを進めています。

その一つが、4月より開催している「夢を語ろう会」です。これまで計4回開催した夢を語ろう会は、生協ビル(仮称)に移転する「新生協歯科ひろしま」「新福島生協内科クリニック」「組合員活動スペース」に、組合員の思いや夢を詰め込み、設計に反映させることを目的に行ってきました。設計に反映できたものもあれば、残念ながら反映できなかった思いもあります。しかし、参加した組合員・職員が一生懸命議論した甲斐あって、生協ビル(仮称)は12月の建設着工にこぎつけることが出来ました。7月の完成までの間、一緒に建設を盛り上げていきましょう!

夢を語ろう会、次回(10月8日)からは「新福島生協病院」へと話を移していきます。新福島生協病院に期待することを参加者から集め、期待度ベスト10をつくります。新病院は2013年4月着工2014年秋の完成を目指しています。新病院にもたくさんの夢を詰め込み「かたち」にしましょう。第5回夢を語ろう会への参加を希望される方は、生協組織部までどしどしお申込みください。あわせて11月20日(日)には、12月から始まる生協ビル(仮称)の建設を記念した「けんこうまつり」を開催します。こちらへも地域の方々をお誘いの上ご参加ください。心よりお待ちしております。



ご案内

●第5回夢を語ろう会

日時:2011年10月8日(土) 13:30～15:30

場所:いきいきプラザ4階講堂

●けんこうまつり

日時:2011年11月20日(日) 10:00～14:00

場所:生協ビル建設予定地(西消防署隣り)

●基本理念●

私たちは、患者さんの立場に立った医療を実践します。

基本方針

1. インフォームド・コンセント(説明と意思決定)を重視し、信頼される医療を提供します。
2. 教育・研修活動をすすめ、医療、看護、接遇の向上につとめます。
3. 地域の人々とともに、医療、福祉、介護のネットワークづくりをすすめます。



生協さえき病院のご紹介

〒731-5115

広島市佐伯区八幡東3丁目11-29

電話(082)926-4511

FAX(082)926-4522



病院長 福山慎二

早くも生協さえき病院が開院して6年の経過です。おかげさまで地域の病院として、医科、歯科、デイケアとともに成長してきましたし、療養病床は広島市全体からの患者さんを受け入れています。

職員の患者さんへの思いも熱く、活気ある病院となりました。いろいろなお力をお借りしながら、よりご期待に添えるように今後とも病院発展に努めてまいります。

各部の紹介

外来

当院の外来では、内科と整形外科を標榜し診療を行っています。内科は月曜日17:00～18:30まで、金曜日17:00～20:00まで受付の夜間診療も実施しています。お仕事が終わってからでもご利用いただけます。

内科は訪問診療も実施しています。医師の診断が必要になりますので、まずは内科を受診していただき医師にご相談ください。

内科・整形外科ではリハビリも実施しています。16名のセラピストを配置し、様々な疾患に対応しています。リハビリも医師の診断が必要ですので、内科・整形外科の受診の際にご相談ください。

通常の診療に加えて、病気の予防活動にも力を入れています。特定健診・協会けんぽ健診・事業所健診・被爆者健診・被爆者2世健診・建設国保ドック・組合員ドックなど様々な健診を実施しています。また各種予防接種も実施していますので、ご希望の方はお電話でご予約ください。



入院病棟

生協さえき病院には医療保険制度に規定された一般病床(44床)、療養病床(60床)、亜急性期病床(10床)があります。

<一般病床>

急性期の検査・治療のための病床です。2～3週間の入院期間を目処とした病床です。他の病院からの転院の場合も一般病床へご入院いただき、当院での入院時検査を行います。病状が安定した方の一般病床での長期入院はできません。

<療養病床>

医療看護の継続が必要で、病状は慢性期の状態にあり、病状が安定した方のための病床です。ご自宅や介護保健施設(老建、特養など)では療養が難しい病状の方の入院施設です(酸素や点滴を必要とする重度の慢性疾患、癌末期、気管切開の状態、脳血管障害の亜急性期の状態など)。長期間のご入院になるため、リハビリテーションやレクリエーションを通じて楽しくお過ごしいただけるよう援助を行っています。

<亜急性期病床>

けがや病気などの急性期疾患でご入院され治療が一段落した後、ご自宅などに帰るための準備をする期間をお過ごしいただく病床です。長期にわたる治療が必要なけがや病気などの患者様は対象となりません。

リハビリテーション科

リハビリ科は、病院オープンの2005年6月に福島生協病院リハビリ科から分かれる形で開設されました。開設当初は、理学療法士5名、作業療法士3名で、医療療養病棟と一般病棟を持ち、ゆったりとした期間で、リハビリテーションの充実を目指しスタートしました。しかし、オープンから1年もたたないうちに、リハビリ期限や打ち切りを含む2006年4月の診療報酬改悪があり、出鼻をくじかれることもありました。その後は、世論の後押しや社会保障運動の影響で制度の改善が徐々に行われ、リハビリ期限の制限も緩和されました。さえきの療養病棟では長期にわたる入院となる場合もあり、年間行事で季節感を味わうことができるような工夫を、スタッフの熱い思いで患者様に提供しています。紆余曲折がありながらも、今年は3名のスタッフを迎えて理学療法士9名、作業療法士5名、言語聴覚士2名とスタッフが増えました。入院・外来患者様にさえきらしい手厚いリハビリテーションを、今後も行っていききたいと思います。よろしくお願いいたします。



通所リハビリテーション科

通所リハビリテーションは、要介護や要支援といった介護認定を受けられた方々が、ご自宅で生活されながら、日常生活の維持や改善を主な目的に利用される介護保険のサービスです。

当事業所は、利用者様一人一人のニーズに出来る限りお応え出来るよう、在宅生活の自立に向け、日常生活に密着したサービスを提供しています。理学療法士や作業療法士といった専門職のリハビリはもちろんの事、介護スタッフが提供する介助においてもリハビリの意識を高く持ち、利用者様のADL（日常生活動作）やQOL（生活の質）の向上を目標としています。また、医療ニーズの高い方や介護度の高い方々も可能な限り利用していただく事で、ご家族の介護負担を軽減していただくと共に、地域の皆様が住みなれた場所で、安心して生活していただける一助になれる事を目指しています。



生協さえき歯科

電話(082)926-1148 FAX(082)926-1147

生協さえき病院歯科は、平成17年6月、生協さえき病院の開設とともに、その病院内の歯科として誕生しました。開設当初から予想されていたことですが、この地ではまだまだ生協の病院や歯科の認知度は低く、さらに病院内の歯科であることから、一般の歯科外来をここで行っているということが地域の方々に認知されるのに非常に時間がかかりました。地域の方々に歯科の存在を知ってもらおうと、歯科の学習会を病院周辺や近隣の団地の方々にお知らせしたり、病院の道路側に大きな歯科の看板を付けたりと、いろいろ努力工夫を重ね、日々の診療では、生協の歯科の歯周病・虫歯予防をメインとした安心安全の医療を、スタッフ全員で努力しながら継続していきました。こうしたスタッフ全員の頑張りもあって、開設4年目くらいから徐々に患者数も増えてきて、地域の方々への認知度も高まってきたように思います。昨年には歯科医師がひとり増え、歯科医師3名体制の規模まで大きくすることが出来ました。



生協さえき病院歯科は、小さいお子様からお年寄りまで、歯周病や虫歯予防の治療をベースに、インプラント、ホワイトニング、セラミックスによる審美治療など、自費の治療にも力を入れています。在宅や施設への歯科往診や口腔ケアも行っています。

これからも、地域組合員の方々の期待に応えられるよう、スタッフ一同気を引き締めて頑張っていきます。

私のクリニック

当院は、昭和39年に父が地元である草津に開業し、平成3年から兄が、そして、平成21年9月から私が医院を継承しました。

専門は、消化器内科で、勤務医時代は、食道、胃、大腸などの内視鏡治療に携わっ



ていました。今では、かかりつけ医として、内科だけでなく様々な疾患を診ています。必要があれば、疾患ごとに専門医の先生に紹介するよう心がけています。また、通院が困難な患者さんに対しては、訪問診療も行っております。これまで、市内の中電病院や山間部の庄原赤十字病院、がんセンターでもある呉医療センターなどで勤務した経験が役に立っていると感じています。今後も、スタッフ一同、笑顔を忘れず、患者さんの目線に立った医療ができるよう頑張りたいと思っています。



医療法人 網岡内科医院

〒733-0861
広島市西区草津東1丁目7-20
電話 (082) 271-4398
FAX (082) 271-3287
院長 網岡 徹

暁の星幼稚園の
みなさんが
来てくれました。

5月23日、観音町の暁の星幼稚園から、かわいい訪問がありました。園児のみなさんからお手紙と花束をいただきました。ありがとうございました。



編集後記

●秋になると数年前に京都に紅葉を見に行き、とても感動したのを思い出します。今年もきれいな紅葉を見にどこかに出かけようかと計画中です。(T)

●きびしい残暑を経て、もうインフルエンザの時期がやって来ます。予防接種も色々な種類が誕生し、なにかと予防できる時代です。「例年通り」が通用しない今日この頃ですが、上手に取り入れて健康な身体をつくりたいですね。(S)

ホームページを リニューアルしました。

福島生協病院のホームページ

(<http://www.hch.coop/fukushima/>) を、
7月1日にリニューアルいたしました。

より見やすく、わかりやすい画面になりました。引き続き、内容の充実に向けてまいります。どうぞ、よろしくお願い致します。

福島生協病院のホームページ (http://www.hch.coop/fukushima/) を、7月1日にリニューアルいたしました。より見やすく、わかりやすい画面になりました。引き続き、内容の充実に向けてまいります。どうぞ、よろしくお願い致します。